



NPO PTPL “ともいき” 便り No.113

平成 28 年（2016 年）12 月 21 日発行

■冬至（とうじ） 12 月 21 日から 2017 年 1 月 4 日までの節気

朝、遊歩道を愛犬と散歩していると、東京でも霜柱がたっている日が増えてきて、冬真っ只中を実感します。町はクリスマス一色。和菓子屋さんの店先には大きなツリーが飾られていて、ウィンドウにはサンタやトナカイ、クリスマスリースやツリーのかわいらしい和菓子が並べられています。通年アイテムのみたらし団子がなんだか気の毒な感じがして、店の前を通るとつい買ってしまいます。お団子に感情移入するのはヘンですけど……。

さて、21 日から二十四節気は「冬至」にはいります。冬至は「太陽の高さが最も低くなり、一年で昼が一番短く、夜が一番長くなる日」です。この節気には、大晦日そしてお正月というように、一年のなかでも特に重要な行事があります。なんとなく、せわしい頃ですね。「冬至」をさかいに少しずつ日がのびてくるころから、「太陽復活」の日とも言われています。日本では、この日に「ん」のつくものを食べたり、柚子湯に入ると一年間病気をしないといわれています。行事食としては、冬至粥といって「小豆粥」を食べます。小豆の赤色が魔除けの色、太陽の色をあらわしているからだそうです。また、かぼちゃと小豆を煮た「いとこ煮」も食べます。これは、「かたいものをおいおい（甥）煮込んで、めいめい（姪）いただく」ことから名付けられたそうです。邪気をはらう小豆と「ん」がついて縁起のいいかぼちゃ（南京）を両方食べて運をとりこもうという意味があるそうです。

柚子湯は柚子の香りがしてリラックスします。近所の家々の庭に大きな柚子の木があります。その家の方は、冬至が近づくといつも柚子を「ご自由にお持ちください」と門の前にだしておいてくれます。今、柚子がたくさんなっています。今年も、感謝していただこうと思います。

大晦日とお正月。大晦日には「細く長く元気に生きていきますように」と願って年越しそばをいただきます。地方によっては、うどんだったりするところもあり

ますが、みなさんはいかがですか。また我が家だけかもしれませんが、私が子どものころは、お正月に身につけるものはすべて新品でした。そして元日の朝、おせちを食べる前に父は、私たち子ども三人に一年の目標を言わせました。小さいながらも、気持ちがりセットされて新しい年になったんだなって思ったのを覚えています。

みなさま、今年はどうな年でしたか。もうすぐ新しい年がきます。来年の福徳を司る神様がいらっしゃる方向、恵方は「北北西」です。私は12月31日には年越しの祓えをし、新年には自宅から恵方の方向にある神社に恵方参りに行く予定です。

今年も、みなさまには大変お世話になりました。NPO PLANT A TREE PLANT LOVEを支えていただき、理事長はじめスタッフ一同、心より感謝いたします。心せわしい年の暮れではございますが、お体にお気をつけて良き年をお迎えください。

すとう あさえ (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事)

■ともいき・ともうみ・ともさち、そして和 雑感彼是 日本の「和」のころ一人と自然とが共に生きる―

昭和の時代、未曾有の戦禍を経験したわが国は、神と仏の鎮まる郷土の美しい自然に励まされながら、奇跡的ともいわれる復興を遂げました。それから70年、こんにちの日本は、繁栄の陰で、自然は荒廃し、世情は混沌としています。わが国の発展を背負ってきた世代が第一線から退き、少子高齢化が進んでいます。そして、都市に人口が集中し、自然と共に暮らしてきた農山村や漁村などは衰退しつつあります。

この時代、日本とは何か、日本人とは何か、そして、そのころは何か、改めて問われています。私たちは、自らが生きるこの日本をもっと知りたいと思っているのです。

平成の時代、わが国は打ち続く地震や噴火、台風や洪水などの災害によって国土は危機に陥りました。戦後50年にあたる平成7年、阪神・淡路大震災が起きました。その惨状は、私たちに都市の繁栄がいかに脆弱であ

るかを思い知らせました。そして、平成 23 年、東日本に起きた世界的規模の地震は津波を伴って広範囲に大災害をもたらしました。また、平成 26 年に発生した御嶽山噴火は、死者や行方不明者の人数は戦後最悪の多さとなりました。

西日本と東日本に生じた二つの大震災は、危機管理体制の問題にとどまらず、現代都市のあり方について、自然との関わりを含めて根本から問い直しているといえます。同じく、御嶽山の噴火は、人の制御を越えた自然の威力を目の当たりにさせました。相次ぐ国難ともいうべき大災害は、自然と切り離された現代社会の繁栄がいかに脆弱であったかを決定的に明らかにしました。

私たちが生きるこの自然は、いうまでもなく、単に環境や資源であるばかりではなく、より本質的に、すべての生命の根源であり、人類の営みの土台です。そして、ほかならぬ都市の基盤でもあります。その自然がまさに地の底から覆ったのです。現代の高度な都市化が被害を大きくしたといわなければなりません。

日本列島では、大地震や大津波が数えきれないほど起きています。火山の大爆発も幾度となく発生しています。そして、いま、私たちは、近い将来に、直下型の大地震が東京をはじめとする都市を襲うことを予期しています。また、いずれ、富士山などの火山の噴火が起きることを予想しています。しかしながら、地震や噴火の発生を予知する方法は未だ確立されてはいません。

この四季の変化に富んだ国土において、私たちを取り巻く自然は、さまざまな恩恵をもたらすとともに、避けがたい災過を引き起こしてきました。日本列島を襲う異常気象や、地震や火山の噴火は、国土の損壊、建物の崩壊、人命の亡失など甚大な被害を与えました。

天候不順による不作は飢饉を引き起こしました。そして都市では疫病をもたらしました。私たちは、そのような自然の猛威の背後に見えざる存在を感じ取ってきました。それを神様とか仏様とか、お天道様と呼んでいました。そして季節の調和と五穀の豊穰、厄災の除去と子孫の繁栄を祈ってきました。

このような自然の営みと人々の営みとが、長い歴史を通じて、地域性の豊かな風土を形成してきました。

風土は、人の生きる場所ごとに異なる自然的文化的な特性であるといえ

ます。風土が形成されるには、景観や風景よりも長い年月を必要とします。そこには何世代にもわたる人々の祈り、思い入れ、願いといったものが蓄積されているのです。

自然に対する畏怖は、私たち日本人の DNA ともいえる心情です。自然への畏敬と感謝。それが私たちの自然に対する見方や感じ方の根幹であるといえます。私たち日本人は、自然との限りない調和を求めて、自然に随い敬いながら暮らしを営んできました。私たちは自然界の一員として、自然の働きに応じて生きてきました。そして、自然のうちなるものとして、すべてのいのちのつながりを重んじてきたのです。

私たちは、現在この国土に培われた自然に対する畏怖や感謝の念を、現代都市に暮らしながら見失おうとしています。過密化する都市からは、自然が消滅しようとしています。美しく豊かな日本の森や山も破壊され荒廃してしまっただころが少なくはないのです。私たちは、人間の側から自然を見るのではなく、自然の大きな循環の中で生きるということを「生活の知恵」としてきました。

現代社会において、改めて、自然を畏れ敬い、安全で豊かな生活を支える環境をつくり上げるところに、真の意味における「人と自然の共生(ともいき)」を基本とする、国土の再生と文化の発展があるに違いありません。

私たちは、人と自然とが共に生きる「ともいき」、共に生み出す「ともうみ」、共に幸せに生きる「ともさち」を大切にしてきました。それらは個々別々のものではなく、密接に関連しつつ、融和し複合しながら、私たち日本人のこころのうちに存在しています。そこに貫かれているのは、大いなる自然のもとにあって、人も生きとし生けるものも共に和(なご)む「和の精神」です。それは私たちの季節感やものの感じ方、宗教的心情やものの見方の根源です。私たちが、いま、“ジャパネスク”と呼ぶ感性や美意識はその結晶です。それは、経済至上主義のグローバル化が進行する現代において、日本の誇るべき伝統であり、わが国の文化と精神の真髄です。そこにこそ、この国の風土に培われた、日本文化の特徴と、日本人の活力があるといえましょう。

※この文章は、同志社大学文学部名誉教授、廣川勝美先生のご教授を受けて作成しました。

ジャパネスク



勝田 祥三 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事長)

■事務局だより

- 12月21日、ともいき暦2017をアップしました。

<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2016/>

自動更新ですが、キャッシュなどが残っている場合があります。その場合は2016を2017と入れていただければ、直ちに更新します。

- 今号が今年最後の「ともいき便り」になります。今年も、皆さまには様々な形でご支援、ご協力いただき、心より感謝申し上げます。

来年も、なにとぞ、よろしく願い申し上げます。

お正月は、ゆっくりとNPO PTPLのホームページ並びにフェイスブックをお読みいただければ幸いです。

来年も、皆さまにとって良い年でありますよう祈念いたします。

「NPO PTPL 公式ホームページ」：<http://www.plantatree.gr.jp/>

「ジャパネスク」：<http://www.japanesque.tokyo/>

「ともいき暦」：<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2016/>

「ともいき ぐらし」：<https://www.facebook.com/tomoikigurashi>

「おらが富士 計画 ふるさと山」：<https://www.facebook.com/oragafuji/>

「不思議・驚き・魅力のジャパネスク」

<https://www.facebook.com/japanesque.tokyo/>

- 会員募集のご案内

NPO活動を推進していくためには、多くの皆さま方のご支援・ご協力が不可欠です。

NPO PTPLでは、常時、個人会員と法人会員を募集しています。この便りをお読みの方で、ご本人またはお知り合いの方々にご案内いただければ幸いです。

詳しくは下記まで、メールまたはお電話・FAXにてお尋ねください。

NPO PLANT A TREE PALNT LOVE 事務局

〒105-0001

東京都港区虎ノ門3-3-3 虎の門南ビルスタンダード会議室虎ノ門南店4階—A

電話：03-6459-0264 FAX；03-6459-0284

Email：info@ptpl.or.jp